

# 迅速測図を用いた久留里街道西往還の推定と付近の石造物

はじめに

加来 利一

久留里街道（注 1）の五井から始まる中往還（通称殿様道）については、これまでに、詳しく検討されているが、姉崎からの西往還は、あまり検討されていない。そこで、今回、Google earth 上で展開された迅速測図（注 2）を使用して、西往還を推定する作業を行った。 街道付近の主要な石造文化財とあわせて発表する。



## 1 房総街道との分岐

西往還は、市原市椎津の瑞安寺門前で房総街道から山側に分岐する。この道は比較的わかりやすく、椎津の台地に上り切ったところで県道を横断し、平成通りに並行して、椎津新田の入り口で平成通りを横切る。

2 道は、新田の集落の中を通り、椎津新田公民館の石仏群を経て、彫りの良いことで有名な馬乗馬頭観音像を右に見ながら、袖ヶ浦市境の道に出る。



3 さらに行くと右手に、浄水場の入り口があり、ここで、秩父巡礼の高倉観音への道と分岐する。分岐点に阿弥陀如来の道標がある。

4 東京都養育院を過ぎたところで、右に上る道となる。この先は、現在の鴨川街道が作られたときに、切り通しができたために直接通行できないが、



5 桜台団地の裾に旧街道らしい道が残っている。



注 1) 久留里街道（通称）は、千葉県教育委員会平成 2 年発行の千葉県歴史の道調査報告書 15 では、久留里道と記載されているが、房総街道から久留里へ通ずる往還である。同書では西往還、中往還、東往還の三往還が示されている。ただ、同書では、中往還についてのみが調査の対象とされている。これは、中往還が久留里藩の参勤交代の道とされているためであるが、同書には、明和年間までは、西往還が、参勤交代に使われていたのではないかとする記述もある。

6 この道の先は、桜台団地内で一部途切れるが、台地の上の市原市天羽で、馬頭観音や道標銘のある地蔵菩薩（東河原井南久留里北姉崎の道標銘がある）がある通りにでる。南側の三叉路にも庚申塔の道標があり、それを右に行くと林間に馬乗馬頭観音がある。さらに、右に急坂を下りると、鴨川街道から分かれた農道と合流し、この先で、高速道路の下の通路を南に進む。



7 高速道路の下のトンネルをくぐると、安誠寺と天照大神宮があり、それぞれ、境内に石造物がある。

天照大神宮の先を右折すると、軽自動車がようやく、通れる幅の道が残っており、道なりに進むと、日本の道100選に選ばれた鎌倉街道を横切って、県道の交差点に出る。





注 2) 迅速測図は、1880 年（明治 13 年）から 1886 年（明治 19 年）に明治政府により作成された 1/20,000 の縮尺の地図であるが、これを独立行政法人農業環境技術研究所が復刻電子化し、歴史的農業環境閲覧システムとして公表した。

この稿は、このシステムを使用して、主要ポイントについて現行 Google map 上の地点とを比較し、さらに、現地において調査を行い往還の現状を、推定記録したものである。

8 この交差点をさらに直進すると、出光石油の先進科学研究所の北門から、研究所の

敷地内に入る。一般の交通も許されているようで、守衛室などはない。ソメイヨシノの標準木などもある桜並木である。

9 道路と研究所との間には柵があり、研究所内を西往還は通っていたようである。

三山塔などの石造物が、敷地内に残っている。

9の地点から、現在の道は、車両の通行のため、迂回道となっているが、迅速側図では、直線に斜面を下る坂道で、西往還跡が残っている。八幡神社まではほぼ直線である。







大元神社（明治以降）のところから右に曲がり、いったん、現国道に出て、すぐ、左斜めに入り、平岡小学校の裏の山手をのぼる。

この丘の上で、河原井の不動坂から上ってきた中往還と西往還とが接近するが、ここでは合流せず、中往還は、河原井の幽谷道をの方向に下って、延命寺付近を經由して高谷の交差点で、西往還と合流したようである。

10 ほぼ、岡の頂上付近で、右に直角に曲がって丘からまっすぐに下り、現国道を横切って、高谷の西の堰に通ずる。

この坂道と、国道付近は整地工事のため、西往還の痕跡が残っていないが、国道の南20-30mところから、幅2m程の西往還の跡が、高谷堰まで続いている。



11 高谷堰からは、高谷の交差点に向かって、まっすぐに一本道となっている。

12 この交差点で、久留里街道中往還（殿様道）と合流し、久留里へ向かったようである。



13 石造物のうち、道標については、坂東33か所巡拝の便利のために作られたもののようである。



なお、文章の表題の数字は 1-12 までは、地図上のマーカーの数字の付近の解説であることも示している。

参考文献 海路書院 2007 年発行 関東地方歴史の道 9

参考電子地図 独立行政法人農業環境技術研究所 歴史的農業環境閲覧システム  
Google earth 上の Google map